【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公表番号】特表2006-507584(P2006-507584A)
【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-009
【出願番号】特願2004-553455(P2004-553455)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｂ　27/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/44　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｂ　27/00　Ｃ
Ｈ０４Ｎ　5/44　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　7/16　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月12日(2006.10.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
緊急警報機能を有する装置を制御するための方法であって：
前記装置に対する電力遮断の後、前記装置の再配置を示す状態を検知する段階；及び
前記状態を検知する段階に対応する前記緊急警報機能に関連する所定の出力を可能にする段階；
から構成されることを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法であって、ユーザが前記状態を検知する段階に対応する前記緊急警報機能に関連する更新情報を与えられる、ことを可能にする段階から更に構成される、ことを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項２に記載の方法であって、前記更新情報は位置コードを含む、ことを特徴とする方法。
【請求項４】
請求項２に記載の方法であって、前記更新情報は緊急イベントの種類を含む、ことを特徴とする方法。
【請求項５】
請求項１に記載の方法であって、前記状態を検知する段階は前記電力遮断の持続時間を検知する手順を含む、ことを特徴とする方法。
【請求項６】
請求項５に記載の方法であって、前記状態は、前記持続時間が所定の時間の期間を上回る場合に検知される、ことを特徴とする方法。
【請求項７】
請求項５に記載の方法であって、前記持続時間は、テレビジョン信号の垂直帰線期間を用いて検知される、ことを特徴とする方法。

【請求項８】
請求項５に記載の方法であって、前記状態を検知する段階は、前記緊急警報機能に関連する、予め指定された周波数チャネルにおける信号強度を検知する手順を更に含む、ことを特徴とする方法。
【請求項９】
請求項１に記載の方法であって、前記状態を検知する段階は、前記緊急警報機能に関連する、第１の予め指定された周波数チャネルにおける信号強度を検知する手順を含む、ことを特徴とする方法。
【請求項１０】
請求項９に記載の方法であって：
前記の第１の予め指定された周波数チャネルは、前記緊急警報機能に関連する第２の予め指定された周波数チャネルに対応する、予め示された高信号強度を有し；及び
前記の第２の予め指定された周波数チャネルが前記の第１の予め指定された周波数チャネルに対応する高信号強度を示す場合に、前記状態は検知される；
ことを特徴とする方法。
【請求項１１】
緊急警報機能を有する装置であって：
前記緊急警報機能をアクティブにすることができる緊急警報信号を含む信号に合わせるためのチューニング手段；並びに
前記装置に対する電力遮断の後に、前記装置の再配置を示す状態を検知するため及び前記状態を検知することに対応する前記緊急警報機能に関連する所定の出力を可能にするための処理手段；
を有することを特徴とする装置。
【請求項１２】
請求項１１に記載の装置であって、前記処理手段は、ユーザが前記状態を検知する段階に対応する前記緊急警報機能に関連する更新情報を与えられることを更に可能にする、ことを特徴とする装置。
【請求項１３】
請求項１２に記載の装置であって、前記更新情報は位置コードを含む、ことを特徴とする装置。
【請求項１４】
請求項１２に記載の装置であって、前記更新情報は緊急イベントの種類を含む、ことを特徴とする装置。
【請求項１５】
請求項１１に記載の装置であって、前記処理手段は、前記電力遮断の持続時間に基づいて前記状態を検知する、ことを特徴とする装置。
【請求項１６】
請求項１５に記載の装置であって、前記持続時間が所定の時間の期間を上回る場合に、前記処理手段は前記状態を検知する、ことを特徴とする装置。
【請求項１７】
請求項１５に記載の装置であって、前記処理手段は、テレビジョン信号の垂直帰線期間に基づいて前記持続時間を検知する、ことを特徴とする装置。
【請求項１８】
請求項１５に記載の装置であって、前記処理手段は、前記緊急警報機能に関連する、予め指定された周波数チャネルにおける信号強度に基づいて前記状態を検知する、ことを特徴とする装置。
【請求項１９】
請求項１１に記載の装置であって、前記処理手段は、前記緊急警報機能に関連する、第１の予め指定された周波数チャネルにおける信号強度に基づいて前記状態を検知する、ことを特徴とする装置。

【請求項２０】
請求項１９に記載の装置であって：
前記の第１の予め指定された周波数チャネルは、前記緊急警報機能に関連する第２の予め指定された周波数チャネルに対応する、予め示された高信号強度を有し；及び
前記の第２の予め指定された周波数チャネルが前記の第１の予め指定された周波数チャネルに対応する高信号強度を示す場合に、前記処理手段は前記状態を検知する；
ことを特徴とする装置。